



財政は
大丈夫？

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体の財政危機を早期に是正することを目的として、財政判断指標を公表することが義務付けられています。

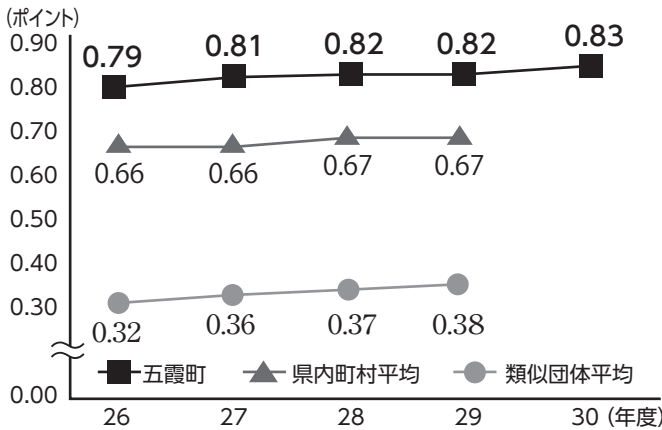
将来負担比率は、基金の減少により上昇しましたが、財政健全化判断比率としては、基準内となっています。

しかしながら、今後、さらに人口減少や社会保障費・公共施設等の更新費用等が増大していくことが中期財政見通しにおいて試算されており、次年度以降は、極めて厳しい状況となります。

今後は、本町の財政の姿や運営課題を明らかにし、持続可能な財政運営を行うための指針となる中期財政見通しを更新しながら財政運営をしていきます。

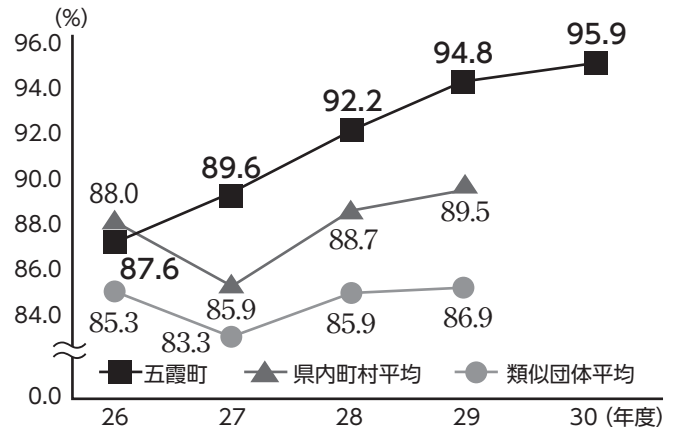
財政力指数（3か年平均）

高いほど町が自力で調達できるお金が多い



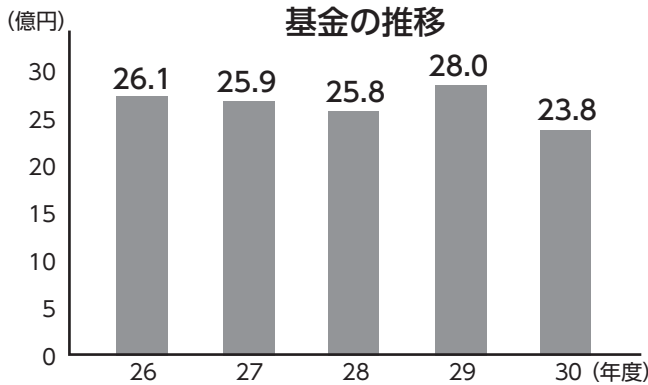
経常収支比率

高いほど自由に使えるお金が少ない



指標	数値	前年度比	内容
実質赤字比率 (基準15.00)	赤字なし	—	一般会計を中心とした赤字の割合
連結実質赤字比率 (基準20.00)	赤字なし	—	一般会計のほか、特別会計や企業会計までを含めた全会計の赤字割合
実質公債費比率 (基準25.0)	8.9%	0.1%	年間の借金返済額の割合
将来負担比率 (基準350.0)	40.7%	27.4%	将来に負担が見込まれる借金の割合

基金の推移

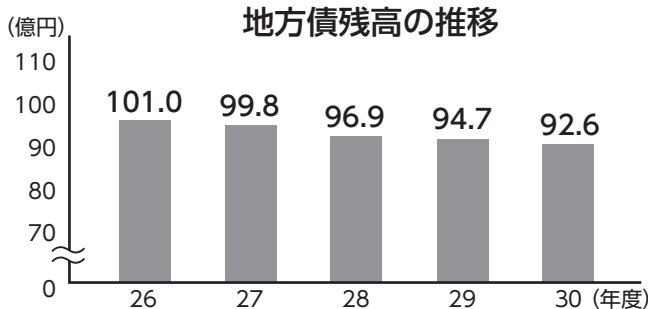


町の貯金(基金積立金)は、公共施設等の維持管理や更新等に係る費用を確保するための財源として、2億円の積み立てを行いました。が、財源調整による財政調整基金の取り崩しを行ったため、総額は23億8千万円となりました。



貯金は
どれくらい？

地方債残高の推移



町の借金(地方債)は、公共事業等債(町道5号線道路整備事業や地盤沈下対策事業)、公共下水道事業債など新たな借入れがありました。が、計画的な償還により、地方債は年々減少傾向にあります。



借金の
残高は？